

Briefing Transcription

|| 2027年3月期第1四半期決算説明会文字起こし ||

株式会社Rebase

5138 東証グロース市場

[企業情報はこちら >>>](#)

[紹介動画はこちら >>>](#)

2026年8月21日(金)



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

■ 目次

■ 決算を受けてのFISCOアナリストコメント	01
■ 出演者	02
■ 決算説明	03

■ 決算を受けてのFISCOアナリストコメント

- ・ 2027年3月期第1四半期決算は、好調なスタートを確認できた。売上高は前年同期比14.9%増の568百万円、営業損益は47百万円の赤字（前年同期は61百万円の黒字）である。オフィス移転にともなう一時費用は58百万円であり、それを除いた営業利益は11百万円となる。売上高の業績予想進捗率は24%（前年は21%）と好調なスタートであり、投資を継続しつつも、売上高広告宣伝費比率は25%と前期第4四半期の31%に対して効率的な運用の元での成長継続となる。利用数は前年同期比11%増の453千件、平均単価は4.3千円（前年同期は4.2千円）、利用総額は前年同期比15%増の1,954百万円、掲載スペース数は前年同期比14%増の47.9千件と順調に伸びており、利益面では組織強化を含めて飛躍的な成長の実現に向けた取り組みへの投資の時期となった。
- ・ 2027年3月期は、売上高で前期比10.0%増の2,400百万円、営業利益で同25.8%減の72百万円が予想されている。移転に伴う一時費用（58百万円）を除くと、営業利益は前期比34%増の130百万円となるが、中長期的に飛躍していくための積極的な投資は継続する。
- ・ 今期も減益となるものの、既存事業の成長が止まった訳でもなく、粗利が悪化している訳でもない。スキルシェア、フリーランス等のプラットフォーム、宿泊等のプラットフォームなどITプラットフォーム化を推進すること、オフィス系のソリューションを持つ企業、空き家利活用関連の企業、宿泊施設等の運営企業との連携による不動産周辺事業の拡張など、既存事業とのシナジーが期待される分野は多くあり、同社もその拡大を志向してきた。今回の減益予想も、既存事業と新規事業のバランスを取る最中の数値となる。遠からずバランスを取り戻すことで、成長軌道への回帰は想定され得る状況にあるという見方に変化はない。
- ・ 2029年3月期に売上高3,000百万円、投資を除いた実力ベースの営業利益700～800百万円とした場合、2029年3月期におけるPER15倍は、時価総額で約70億円となる（現在22億円）。既存事業のみが線形で成長した場合の無理のない試算となるので、将来的な投資の状況で利益は振れる。過去において成長期待から株価が買われていたこともあり、その反動が大きかったことは容易に想定できるが、現状の株価は売られ過ぎであるように見える。

株式会社Rebase
5138 東証グロース市場

2026年8月21日 (金)

■ 出演者

株式会社Rebase
代表取締役

佐藤 海様

■ 決算説明



■ Rebase 佐藤様

株式会社Rebase代表の佐藤海と申します。

当社の2027年3月期第1四半期決算説明をご視聴いただき、誠にありがとうございます。

この時間を通じて当社についてのご認識とご理解をいただけたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、これまでご案内のとおり、第1四半期と第3四半期につきましては、今回のように説明動画の録画配信とさせていただきます。

そのため、決算に関するご質問につきましては、本資料の後半に記載された当社IRサイトのお問い合わせフォームからご質問をいただけますと幸いです。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明



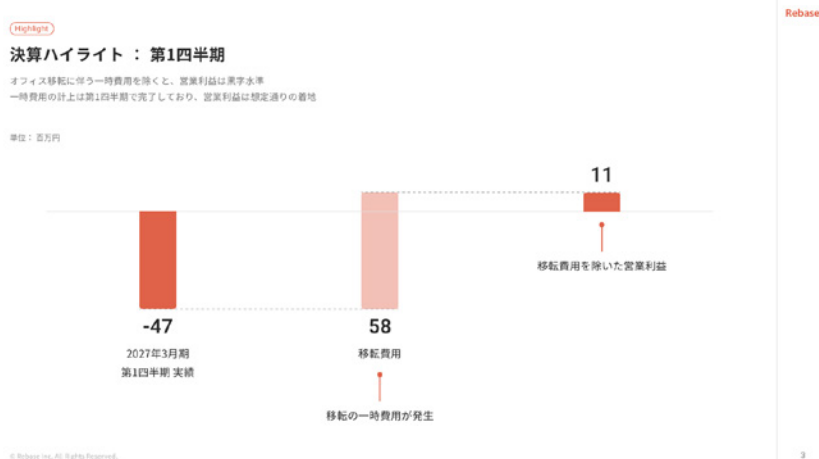
本編に先立ちまして、2027年3月期第1四半期の決算ハイライトをご説明します。

第1四半期の売上高は前年同期比15%増となり、5億6,800万円で着地しました。

売上高の業績予想進捗率は24%となり、前年同期の進捗率が21%だったことを踏まえると、好調に推移しております。

営業損失4,700万円を計上しておりますが、移転に伴う一時費用の計上は第1四半期で完了しており、営業利益は想定通りの着地です。

加えて、広告宣伝費の対売上高比率は25%となっており、前期第4四半期の31%に対し、効率的な運用を実現しております。



こちらは、オフィス移転が営業利益に与えた影響を示したグラフです。

4月8日に実施したオフィス移転に伴い、新オフィスの消耗品、一括償却資産を始めとした一時的な費用が発生しました。

これらの一時費用を除くと、第1四半期の営業利益は黒字となる構造です。

以上を踏まえた上で、本編へと移らせていただきます。

決算説明



本日の流れとしましては、2027年3月期第1四半期業績、当社の成長戦略の順でご説明いたします。
なお、会社概要等につきましては、Appendixにスライドを追加しておりますので、ご参照いただけますと幸いです。



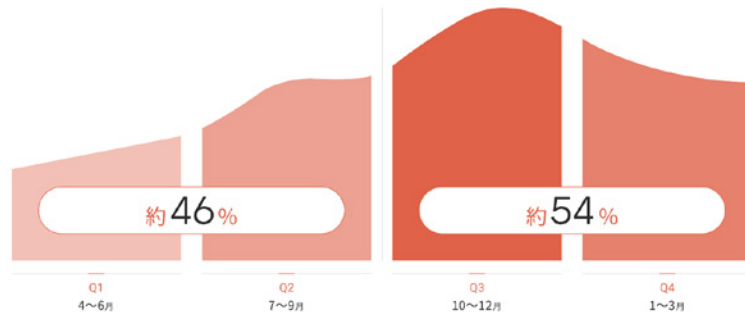
それでは、当社の第1四半期の業績についてご説明いたします。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明

レンタルスペース領域におけるシーズナリティ

インスタベースへの認知とニーズが最も高まる時期は、当社第3四半期である「10月～12月」
利用総額等の各種重要指標は下半期に偏重する傾向がある



© 2026年3月期の実績を元にシーズナリティを表したイメージ図
© Rebase Inc. All Rights Reserved.

Rebase

01
2027年
1月期業績
02
成長戦略
03
実行概要
04
事業概要

6

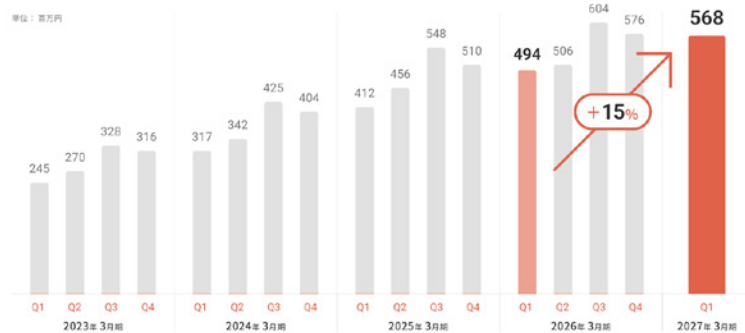
業績予想に対する進捗状況をご説明するにあたり、まずはインスタベースのシーズナリティについて触れさせていただきます。

レンタルスペース市場は、成長市場であることに加えて、10月から12月の第3四半期がレンタルスペースに対する認知とニーズが1年で最も高まる繁忙期となるため、上半期よりも下半期に売上が偏重する傾向があります。

以上を踏まえ、次のスライドより業績をご報告させていただきます。

四半期推移：売上高

売上高の業績予想進捗率は24%（前年は21%）となり好調に推移
売上高広告宣伝費比率は25%であり、効率的な運用と売上の最大化を実現



© Rebase Inc. All Rights Reserved.

Rebase

01
2027年
1月期業績
02
成長戦略
03
実行概要
04
事業概要

7

こちらは四半期別売上高の推移となります。

2027年3月期第1四半期においては、前年同期比15%増の5億6,800万円での着地となりました。

冒頭にもご説明しましたとおり、通期業績予想に対する進捗率は24%となっており、前年同期の進捗率が21%であったこととシーズナリティの影響を踏まえると、好調に推移しております。

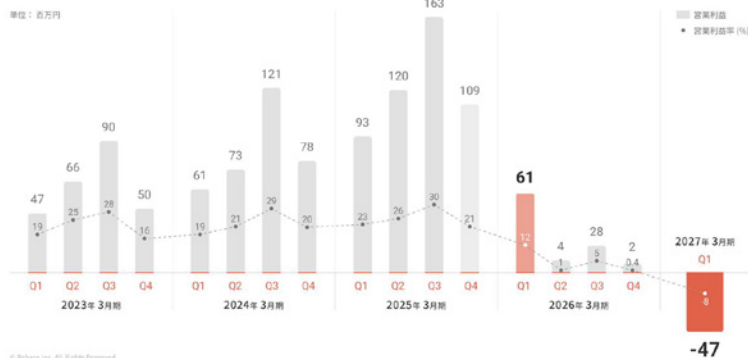
また、広告宣伝費の対売上高比率は25%であり、効率的な運用と売上の最大化を実現しております。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明

四半期推移：営業利益および営業利益率

オフィス移転に伴う一時費用の計上により、営業利益は-47百万円
一時費用の計上は第1四半期で完了しており、営業利益は想定通りの着地



Rebase

01 2027年 3月期業績
02 成長戦略
03 会社概要
04 経営戦略

こちらは四半期別営業利益と営業利益率の推移となります。

オフィス移転に伴う一時費用の計上等により、営業損失4,700万円となりました。

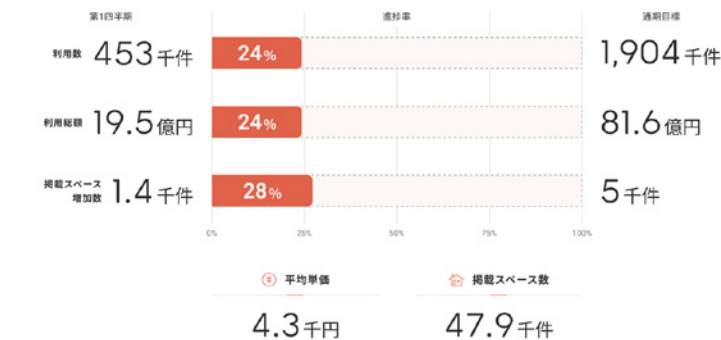
一時費用の計上は第1四半期で完了しており、営業利益は想定通りの着地です。

四半期別としては前回のオフィス移転以来の営業損失を計上しておりますが、当社ではこのオフィス移転を「組織および事業の成長を支えるための戦略的投資」として位置付けており、新たなオフィスで発生する様々なコミュニケーションを起点とし、飛躍的な成長を実現して参ります。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明

重要指標の進捗



© Rebase Inc. All Rights Reserved.

Rebase

- 01 2027年1月期業績
- 02 成長戦略
- 03 集客施策
- 04 企業価値

9

続いて、インスタベースにおける重要指標のご説明をいたします。

インスタベースにおける最重要指標は「利用総額」になりまして、スペースの「利用数」と予約の「平均単価」の掛け合わせで構成されます。

そのため、いずれの指標も成長していれば、当然「利用総額」は大きく成長します。

この「利用総額」の成長のために、当社では特に「利用数」の成長に重きを置いて取り組んでおります。

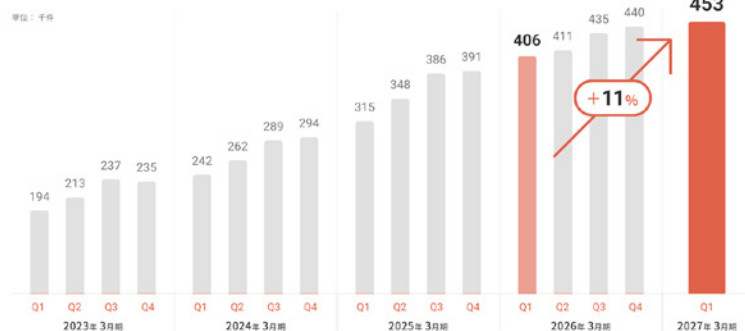
第1四半期の結果としましては、利用数、利用総額ともに通期目標に対する進捗率が24%となり、好調に推移しております。

また、掲載スペース増加数は通期目標に対する進捗率が28%となりました。

次のスライドから各指標について詳しくご説明いたします。

重要指標の成長推移：利用数

スペース利用数は45万件超となり、引き続き過去最高を記録
既存の集客チャネルの強化および新規集客チャネルの開拓により、更なる成長を目指す



© Rebase Inc. All Rights Reserved.

Rebase

- 01 2027年1月期業績
- 02 成長戦略
- 03 集客施策
- 04 企業価値

10

まずは「利用数」ですが、第1四半期は45万件超のスペース利用があり、引き続き過去最高を更新することができました。

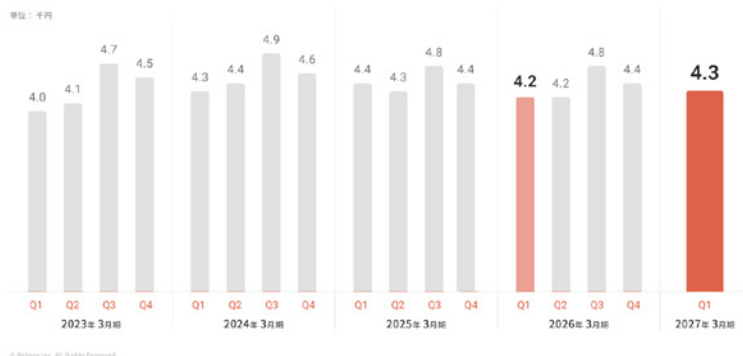
既存チャネルの集客力強化および新規集客チャネルの開拓に引き続き注力し、更なる成長を目指してまいります。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明

重要指標の成長推移：平均単価

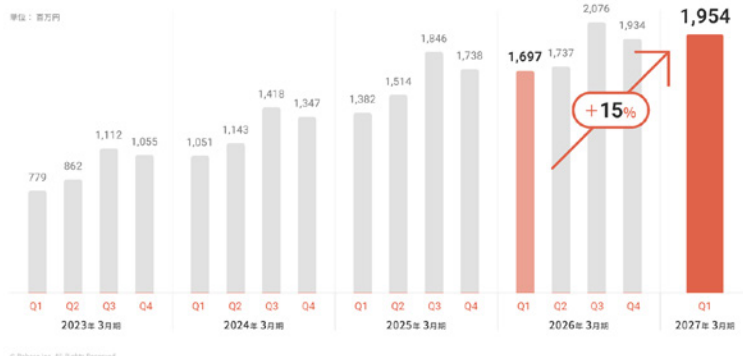
レンタルスペースでライブビューイングを楽しむ文化が広がり、長時間利用や高単価スペースの利用が増加。特に「趣味・遊び・パーティー」用途での単価が向上し、全体の平均単価も前年同期比3%増



続きまして「平均単価」ですが、第1四半期の平均単価は4,300円で着地しました。レンタルスペースでライブビューイングを楽しむ文化が広がり、長時間利用や高単価スペースの利用が増加した結果、特に「趣味・遊び・パーティー」の用途で単価が向上し、全体の平均単価も前年同期比3%増となっています。

重要指標の成長推移：利用総額

利用数、平均単価ともに堅調に推移した結果、前年同期比15%増で最終通期目標に対して24%の進捗率で好調な走り出し



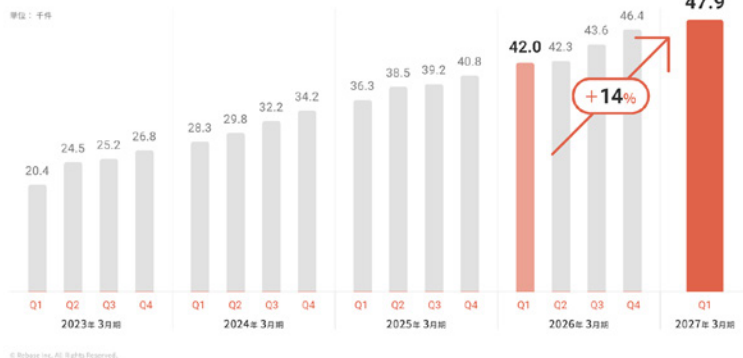
最重要指標である利用総額は、利用数、平均単価ともに堅調に推移した結果、前年同期比15%増での着地となりました。通期目標に対する進捗率も24%となり、好調な走り出しを実現しております。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明

重要指標の成長推移：掲載スペース数

アライアンスによる新規スペースの獲得を含め、掲載スペース数は堅調に増加
掲載スペース増加数の観点では、通期目標に対し28%と好調に推移



掲載スペース数については、アライアンスによる新規スペースの獲得を含め、堅調に増加しております。
掲載スペース増加数の観点では、通期目標に対する進捗率が28%となり、好調に推移しております。
本日時点では、4万8,000件のスペースを突破しておりますが、今後も、スペースの獲得を継続することで、
利用機会の創出に努めてまいります。

重要指標の実績一覧（第1四半期）

FY	利用数 (千件)		平均単価 (千円)		利用総額 (百万円)		掲載スペース数 (千件)	
	前年比	増減件数	前年比	増減額	前年比	増減額	前年比	増減件数
2020年3月期	37		5.3		198		6.3	
2021年3月期	49	+31%	3.7	-31%	178	-10%	8.6	+37%
2022年3月期	152	+212%	4.0	+8%	602	+238%	12.8	+49%
2023年3月期	194	+27%	4.0	+2%	779	+29%	20.4	+59%
2024年3月期	242	+25%	4.3	+8%	1,051	+35%	28.3	+39%
2025年3月期	315	+30%	4.4	+1%	1,382	+31%	36.3	+28%
2026年3月期	406	+29%	4.2	-5%	1,697	+23%	42.0	+16%
2027年3月期	453	+11%	4.3	+3%	1,954	+15%	47.9	+14%

© Rebase Inc. All Rights Reserved.

こちらは、これまでご覧いただいたKPIを、各事業年度の第1四半期の数値だけでまとめたものです。
順調に成長していることをご確認いただけるかと思います。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明

重要指標の実績一覧 (通期)

FY	利用数 (千件)			平均単価 (千円)			利用総額 (百万円)			掲載スペース数 (千件)		
	前年比	増減件数		前年比	増減額		前年比	増減額		前年比	増減件数	
2020年3月期												
	210			5.6			1,164			8.1		
2021年3月期	354	+69%	+144	4.2	-24%	-1.3	1,500	+29%	+335	11.0	+36%	+2.9
2022年3月期	686	+94%	+332	4.1	-4%	-0.2	2,783	+86%	+1,283	19.0	+72%	+8.0
2023年3月期	878	+28%	+192	4.3	+7%	+0.3	3,807	+37%	+1,024	26.8	+41%	+7.8
2024年3月期	1,086	+24%	+209	4.6	+5%	+0.2	4,959	+30%	+1,152	34.2	+28%	+7.4
2025年3月期	1,440	+33%	+354	4.5	-1%	-0.1	6,480	+31%	+1,521	40.8	+19%	+6.6
2026年3月期	1,692	+17%	+251	4.4	-2%	-0.1	7,444	+15%	+964	46.4	+14%	+5.6
2027年3月期												

© Rebase Inc. All Rights Reserved.

Rebase

01
2027年
3月期業績

02
広告収入

03
広告掲載

04
営業利益

05
営業利益

06
営業利益

07
営業利益

08
営業利益

09
営業利益

10
営業利益

こちらは、通期の各KPIにおける実績を、事業年度別にまとめたものです。
2027年3月期に関しましては、通期の業績発表のタイミングでアップデートさせていただきます。

2027年3月期 第1四半期 業績

単位: 百万円 □ 内は対売上高比率		会計期間 (2026.04 - 06)			2027年3月期 業績予想		
	2026年3月期 Q1実績	2027年3月期 Q1業績	前年同期比		前年比	業績予想 推移率	
売上高	494	568	+15%	2,400	+10%	24%	
販管費	415 (84%)	594 (105%)	+43%	2,241 (93%)	+12%	27%	
営業利益	61 (12%)	-47 (-8%)	-	72 (3%)	-26%	-	
経常利益	61 (12%)	-48 (-9%)	-	67 (3%)	-32%	-	
当期純利益	42 (9%)	-18 (-3%)	-	55 (2%)	-25%	-	

© Rebase Inc. All Rights Reserved.

Rebase

01
2027年
3月期業績

02
広告収入

03
広告掲載

04
営業利益

05
営業利益

06
営業利益

07
営業利益

08
営業利益

09
営業利益

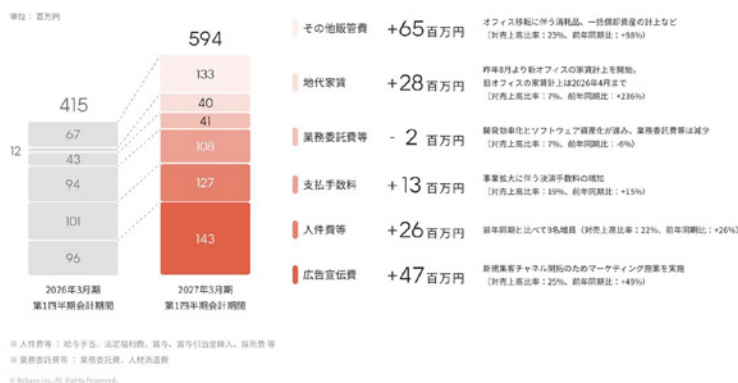
10
営業利益

以上の結果、第1四半期会計期間の業績としましては、売上高は前年同期比15%増の5億6,800万円、販管費は前年同期比43%増の5億9,400万円、営業損失は4,700万円となりました。
冒頭でもお伝えした通り、移転に伴う一時費用の計上は第1四半期で完了しており、営業利益は想定通りの着地です。
加えて、広告宣伝費の対売上高比率は25%となっており、前期第4四半期の31%に対し、効率的な運用を実現しております。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明

販管費の内訳 (前年同期比較)



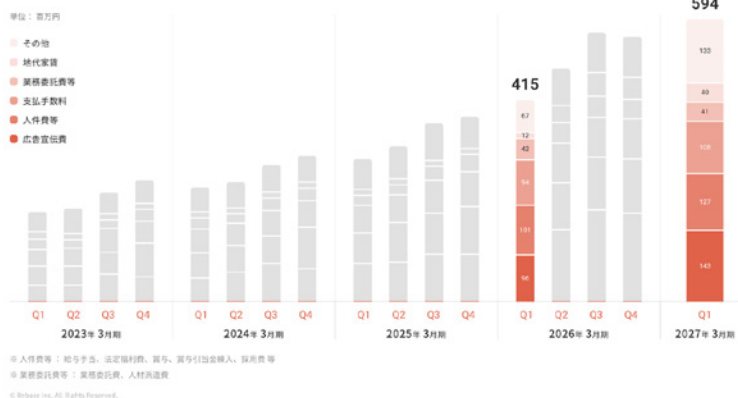
第1四半期における販管費の内訳比較となります。

主には移転による一時費用の計上を始めとしたその他販管費の増加、広告宣伝費の増加によって、販管費全体としては前年同期比で1億7,800万円増加しております。

広告宣伝費に関しては、対売上高比率の観点では、前期第4四半期や通期での結果と比較すると低減できております。

また、業務委託費等に関しては、開発の効率化等が進んだ結果、前年同期比で削減できております。

販管費の内訳 (四半期推移)



こちらは四半期別販管費の内訳と推移になります。

この第1四半期は、前年同期比で43%増となっております。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

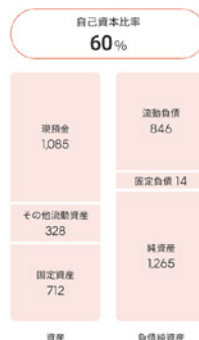
決算説明

BSサマリ

オフィス移転に伴う定款等により、調整金および未払金が増加
旧オフィスの退去に伴う敷金及び保証金の減少により、固定資産が増加

単位：百万円	2026年3月期 期末	2027年3月期 第1四半期末	前期末比
現金	1,192	1,085	-9%
その他の流動資産	270	328	+22%
固定資産	809	712	-12%
資産合計	2,272	2,126	-6%
流動負債	971	846	-13%
固定負債	17	14	-15%
負債合計	988	861	-13%
純資産合計	1,283	1,265	-1%
負債純資産合計	2,272	2,126	-6%

© Rebase Inc. All Rights Reserved.



Rebase

01	2027年3月期 第1四半期 業績
02	成長戦略
03	会社概要
04	事業概要
19	

こちらはBSサマリとなりますが、オフィス移転の影響により、内訳に変化が生じております。



最後のパートとなりますが、当社の成長戦略についてご説明いたします。

決算説明

インスタベースの成長戦略

有意目標の向上施策を着実に実行し利用総額を最大化
サービス体験の向上を図り、リピート率およびLTVを最大化することで事業拡大へ



© Rebase Inc. All Rights Reserved.

Rebase

01
2027年
3月期業績
02
成長戦略
03
集客戦略
04
営業戦略

21

こちらは、インスタベースの成長戦略です。

さらなる成長の実現に向けて、

- ・集客力の強化
- ・UI/UXの最適化
- ・平均単価の向上
- ・掲載スペース数の最大化

これら4つに注力していきます。

トピックスサマリ：第1四半期

Reserve with Google対応開始



Google検索やGoogle Map上に表示される
スペース情報から予約ページに直接アクセス

- ・集客力の強化
- ・UI/UXの最適化

ローソン・ユナイテッド・シネマとのサービス連携



全国34都府・約300スクリーンを掲載開始
映画館スペースの検索体験向上のため、
スペースカテゴリー「映画館・シアター」を新設

- ・掲載スペース数の最大化

ビジョンセンターとのサービス連携



東京都中心部・横浜エリアの主要駅を
中心に大人数での貸しにも幅広く対応可能な
スペースを掲載開始

- ・掲載スペース数の最大化

THE HUBとのサービス連携



全国の主要都市に展開する
フレキシブルワークスペース「THE HUB」
228スペースを掲載開始

- ・掲載スペース数の最大化

© Rebase Inc. All Rights Reserved.

Rebase

01
2027年
3月期業績
02
成長戦略
03
集客戦略
04
営業戦略

22

当社では、インスタベースの成長戦略に基づいた取り組みを実施しています。

第1四半期においては、「集客力の強化」と「UI/UXの最適化」双方の観点から、Reserve with Googleへの対応を開始しました。

これにより、Google検索やGoogle Map上に表示されるスペース情報から、インスタベースの予約ページに直接アクセスし、予約が可能になりました。

また、「掲載スペース数の最大化」の観点では、アライアンスによる新規スペースの獲得を行なっております。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明

当社におけるM&Aの方針

インスタベースの成長戦略に寄与する投資を優先的に実行
既存事業の周辺領域も投資対象とする



© Rebase Inc. All Rights Reserved.

Rebase

01
2027年
3月期業績
02
成長戦略
03
会社概要
04
事業内容
23

続きまして、当社の投資戦略についてご説明いたします。

当社の投資戦略としては、インスタベースとのシナジーを見込める企業を第一優先としております。

また、事業領域の拡大を可能にする企業もスコープに入れて投資活動を行うことで、さらにその先にある新規領域への進出可能性も高めて参ります。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明



最後になりましたが、市場規模についてご説明いたします。

インスタベースが属するスペースシェア市場では、場所の需要と供給、両方の側面から今後も飛躍的な成長が見込まれます。

第一に需要、つまり利用者のニーズにおいては、働き方や趣味の多様化により、レンタルスペースの利用ニーズが様々な用途において拡大しております。

インスタベースは、現代のライフスタイルの変化を捉え、利用者の多様なニーズに応える形で成長を続けていきます。

第二に供給、つまり遊休スペースの増加についてです。

- ・少子高齢化や人口減少などを背景とした空き家問題
- ・都心において変わらず供給され続ける新規オフィス
- ・入居者が抜けた後の空室がなかなか埋まらない二次空室問題

こういった諸問題から想定される未来として、今までの賃貸借契約という商習慣だけでは利活用が難しくなっていくと想定しております。

スペースのシェアという新しい場所のあり方は、今後より一層求められていくと考えております。

スライドの図は各調査データを元に当社にて推計した市場規模となります。

市場の拡大に貢献しながらも成長軌道にある市場でシェアを高めていくことで、ビジョンそしてミッションの実現を目指して参ります。

株式会社Rebase | 2026年8月21日 (金)
5138 東証グロース市場

決算説明

決算説明動画および質疑応答について

決算発表日	2026年8月13日
決算説明会	2026年8月13日 https://gs.sbssec.co.jp/ir_top.html
書き起こし記事公開日	2026年8月下旬予定 https://www.rebase.co.jp/ir/news/

決算に関するご質問等ございましたら、当社IRサイトのお問い合わせフォームからご質問をいただけますと幸いです。

IRサイト お問い合わせフォーム
<https://www.rebase.co.jp/ir/inquiry/>

なお、これまでいただいている決算に関するFAQにつきましては、以下URL先にまとめておりますので、あわせてご参照いただけますと幸いです。
<https://www.qastation.jp/Rebase-8b6fbcckfa1441b5045e8d96603a72ee4>

Rebase

01	2027年3月期第1四半期
02	成長戦略
03	会社概要
04	経営戦略
25	

以上で2027年3月期第1四半期の決算説明を終了させていただきます。

当社の決算説明会の開催方針としまして、第1四半期と第3四半期につきましては、今回のように説明動画の録画配信とし、第2四半期と通期につきましては、リアルタイムでのオンライン配信とさせていただきます。

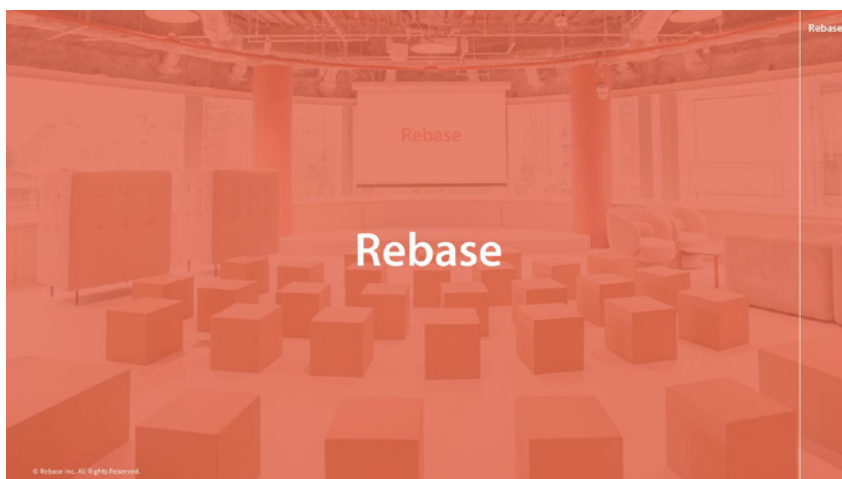
いずれの決算説明会においても、書き起こし記事は公開させていただく予定です。

また、決算に関するご質問につきましては、本スライドに記載された当社IRサイトのお問い合わせフォームからご質問をお願いいたします。

なお、これまでいただいている決算に関するFAQにつきましては、QA Stationというサイトにまとめておりますので、本スライド下部にあるリンク先もご参照いただけますと幸いです。

それでは、以上となります。

ご清聴いただきまして、誠にありがとうございました。



重要事項 (ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062東京都港区南青山5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443 (IRコンサルティング事業本部)

メールアドレス：support@fisco.co.jp